

東海支部 ランパーン日帰り旅行報告

少數ながらも東海支部の会員たちがチェンマイへ終結できたところで、チェンマイから 100 キロ南の花馬車が行き交う古い町並みが残るランパーンへ日帰り旅行をしました。YOU YOU TRAVEL のセキサンさんにお願いして往路を鉄道の旅にしもらい充実した旅ができました。チェンマイ駅では 7:30 発の快速急行の入線を待っていると隣のホームには豪華観光寝台列車「ブルー・ジャスミン」が停まっている。DTH Travel がタイ国鉄と提携し 2025 年に運行を開始しタイ国内を 9 日間のラグジュアリーな「スロー・トラベル」を実践しているようです。定刻に出発した列車はマレー半島の椰子やゴムの林の風景とは違う車窓を楽しみながら 2 時間、定刻より早くランパーン駅へ到着。旅情を誘うノスタルジックな駅舎を後に花馬車へ分乗して蹄の音を「カッポ・カッポ」と立てながら古民家や寺院を巡り 1 時間を楽しみました。ガーデンレストランでの昼食の後は郊外にある鎌倉大仏の夢を見た住職が建造した、山上にある大仏を見学してチェンマイへ戻りました。これでは終わらず帰着後は近くの店「Chef Den Seafood」で打ち上げ夕食会をして解散。女性 4 人、男性 2 人の旅はバランスから言って最高に盛り上がる人数構成でした。少數ながらまとまりの良いチェンマイ・チームでした。

開催日：2026 年 1 月 29 日(木) ツアーは 6:15 発 ~ 17:15 帰着 会費@3,500 B



レトロな駅舎へ入りホームへ立つ。真っすぐ続く線路を見ると、この列車でバンコクまで行けるのか…。と旅情をかきたてられますね…。
鉄道は夢があるな！



四人娘も乗る前は興奮しています。女の子もテンション上がるわ！？
この列車に乘ります。バンコク行きの快速急行



「ブルー・ジャスミン」
豪華寝台列車が隣に停車中



2時間の鉄旅は修学旅行気分です。
朝早かったから車内でおにぎりセット朝食



由緒あるビルマ風寺院。ワットプラケオ・ドーンタオ。 ランチメニュー



ブーゲンビリアの花が熱帯を感じます。
綺麗に撮ってね！ 「うーん」 撮影者困惑

ほとんどの人が飲めます
料理の辛さが欲しい人たち



ランバーン名物の花馬車。御者はカウボーイハットを被り、小さめの馬を操る。
「カッポ・カッポ」と蹄の音が静かな街に心地よい。



観光途中では名物のセラミックの買物。陶器メーカーの鶏マークが街のシンボル



住職が夢に見た鎌倉大佛を真似て建造。眺めも最高

旅の安全に感謝！



足が上がってる！ 意味は不明です？ 山頂のお寺まではソンテウに乗り換え



エビ・エビ・エビ 新鮮だから旨い。地元民が通うシーフード店。



ツアー終了後、ホテル近くのレストランで打ち上げ。 蒸し魚は味があっさり



報告者：東海支部 1883 斎藤 隆夫